



西海市

The SAIKAI
Municipal Assembly
News

議会だより

No.31

平成25年5月2日発行

国道206号線「小迎バイパス」開通！

おもな内容

- P 2~3 平成25年第1回西海市議会定例会
- P 4~5 第1回議会定例会で審議した案件と結果
- P 6~8 常任委員会及び特別委員会審査報告
- P 9~P 11 一般質問ほか
- P 12 編集後記ほか



平成25年 第1回西海市議会公定例会



平成25年第1回西海市議会公定例会は、2月27日から3月14日まで16日間の会期で開催され、委員会審査等を経て、提出された56件の議案全てが原案のとおり可決されました。

市長提出の議案等

会期初日の2月27日に、市長から、議会が指定した軽易な事項に係る専決処分報告2件、条例案31件、平成25年度当初予算案10件、平成24年度補正予算案10件、その他の議案3件の計56件の報告案件と議案が提出されました。

このうち、本会議での報告のみで審査が行われない報告案件の2件を除く54件の議案については、会期7日目の3月5日の本会議において、それぞれ所管の常任委員会に付託され、各常任委員会で詳細にわたる審査が行われました。

市長提出の追加議案

会期7日目の3月5日には、その他の議案1件が、同13日目の3月11日には、補正予算案2件が市長から追加提出されました。これら計3件の追加議案についても、当初提出された他の54件の議案と同様、それぞれ所管

の常任委員会に付託され（付託は、各追加提出日と同日に開かれた本会議で行われました）、各常任委員会で詳細にわたる審査が行われました。

委員会提出の議案

西海町横瀬郷に建設された米海軍のエアクッション型揚陸艇（LCAA）駐機場について、米国側が、これまで行ってきたLCAAを実際に走行させる際の関係自治体への事前通知を行わないと表明したことを受けて、会期最終日に基地対策特別委員会から、「LCAA運用予定に関する事前通知の継続を求める意見書案」が発議され、同特別委員会委員長の趣旨説明のあと、質疑、討論を経て採決した結果、全会一致で原案のとおり可決されました。

この意見書は、西海市議会名で、防衛大臣と外務大臣宛に即日送付しました。なお、意見書は8ページに掲載しています。

総括質疑

会期7日目の3月5日に開かれた本会議において、会期初日の2月27日に提出された54件の市長提出議案について、事前に議員から提出された質疑通告書に基づき、総括質疑が行われました。

今回の総括質疑では、2件の議案に各1名の議員から通告がなされ、その通告内容に沿って質疑及び答弁がなされました。質疑応答の主な内容は次のとおりです。





平成24年度西海市一般会
計補正予算（第5号）

質疑 汚泥再生処理センター
運転管理業務委託について、今
回の入札参加資格について詳細
を伺う。

答弁 今回の業務委託に係る
入札については、地方自治法施
行令の規定に基づき、委託業務
の内容や規模、業務の特殊性等
を考慮した上で入札参加資格要
件を設定した。

質疑 制限付一般競争入札の
趣旨にのっとり、市内業者の入
札は行われたのか。

答弁 今回の入札参加業者は
市外業者2者であったが、当初
の入札参加資格確認申請は市内
業者を含む3者から提出された
しかし、入札参加資格の確認に
足る書類が提出されず、結果と
して市外業者2者による入札と
なった。

平成24年度西海市工業団
地整備事業特別会計補正
予算（第1号）

質疑 本年度の予算額6割を
減額補正しているが、減額の
内容と計画変更について伺う。

答弁 今回の減額は計画変更
によるものではなく、税務上の
課題があり土地の売買契約を延
期することに伴う用地購入費の
減額が主な要因である。

質疑 今後の全体計画の見通
しを伺う。

答弁 今回の当初予算は骨格
予算であり、投資的経費は計上
していない。
6月の補正予算で関係予算を
計上し、税務上の課題を解決し
た上で売買契約の締結を進めて
行きたい。

委員会での審査

各常任委員会に付託された市
長提出議案は、総務文教常任委
員会が14件、産業建設常任委員
会が24件、厚生常任委員会が16
件、予算決算常任委員会が3件
で、それぞれ慎重な審議が進め
られました。総務文教常任委員
会で審査中の議案のうち1件
が、会期中に市長の申し出を受
けて撤回されたため、残り56件
の議案について、各委員長から
委員会審査報告書が議長宛に提
出されました。



工業団地予定地（西彼町風早郷）

審査報告と採決

3月11日と14日に開かれた本
会議において、各常任委員会の
委員長が登壇し、それぞれ各委
員会の審査報告を行ったあと、
これを受けた質疑、討論を経て
採決が行われた結果、これら56
件の議案全てについて、原案の
とおり可決されました。

市政一般質問

会期6日目の3月4日に行わ
れた市政一般質問には、5人の
議員が登壇し、市政全般にわた
る幅広い事項への的確な指摘と
共に、市長等に対し、行政運営
のあり方を厳しくたずねる中で、
白熱した議論が展開されました。

審議した案件と結果

件名	議決の結果
西海市西彼多目的運動公園駐車場物損事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	報告済み
大島町百合ヶ丘地区電気通信設備物損事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	報告済み
長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
西海市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の変更について	原案可決
西海市公共交通整備基金条例の制定について	原案可決
西海市障がい児就学指導委員会設置条例の制定について	原案可決
西海地区スクールバス交通事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて	原案可決
西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市西彼農村環境改善センターの指定管理者の指定について	原案可決
西海市漁業振興資金利子補給条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
西海市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について	原案可決
西海市準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
西海市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市都市下水路の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定道路の構造の基準に関する条例の制定について	原案可決
西海市における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の制定について	原案可決
西海市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市営住宅等整備基準条例の制定について	原案可決
西海市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	原案可決
西海市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決

第1回議会定例会で

件名	議決の結果
西海市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決
西海市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定等に関する条例の制定について	原案可決
西海市廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	原案可決
西海市福祉医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
西海市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
平成24年度西海市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
平成24年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成24年度西海市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
平成24年度西海市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成24年度西海市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成24年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成24年度西海市交通船特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成24年度西海市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成24年度西海市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
平成24年度西海市工業用水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
平成25年度西海市一般会計予算	原案可決
平成25年度西海市国民健康保険特別会計予算	原案可決
平成25年度西海市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
平成25年度西海市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
平成25年度西海市下水道事業特別会計予算	原案可決
平成25年度西海市工業団地整備事業特別会計予算	原案可決
平成25年度西海市交通船特別会計予算	原案可決
平成25年度西海市介護保険特別会計予算	原案可決
平成25年度西海市水道事業会計予算	原案可決
平成25年度西海市工業用水道事業会計予算	原案可決
長寿介護課公用車の交通事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて	原案可決
平成24年度西海市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
平成24年度西海市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
LCAC 運用予定に関する事前通知の継続を求める意見書	原案可決

総務文教常任委員会では、条例案7件、当初予算案2件、補正予算案2件、その他の議案3件の計14件の議案を審査し、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定されました。

主な審議内容

西海市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◇これまで職員が住居を新築等した場合に、5年間、月額20000円を支給して来たものを4月から廃止する。

質疑

今回の廃止に至った理由は。

答弁

平成21年の人事院勧告において廃止が勧告され、本市でも、当時25000円の支給額を次年度から20000円に減額する改正は行われたものの、廃止には至っていなかった。その後、職員団体との交渉を重ねた結果、ようやく交渉がまとまり、今回の廃止となった。

西海市特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◇市内に4か所ある診療所（江島・平島・雪浦・松島）に勤務する医師が、別に江島や平島の診療所長を兼務する場合には、これまで月額100万円の範囲内で支給されてきた「医師手当」について、更に30万円以内の範囲内で加算して支給する。

診療所には、法律に基づいて管理者である診療所長を置く必要があるが、江島や平島の診療所に勤務する医師が何らかの理由で不在となった場合、法律の要件を満たさなくなることから、そのような場合に他の診療所の医師に兼務してもらうこととし、その兼務す

る医師には手当の額を加算して支給するものである。

質疑

平島や江島は五島に近いが、五島の医療機関との連携についての協議はなされているのか。

答弁

平島は上五島の目の前にあり、今も、平島診療所医師の要請による上五島病院への搬送等が行われている。江島は一定の距離があるため、必要に応じドクターヘリや備船による佐世保市の医療機関への搬送が行われている。

西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◇大瀬戸地区の小学校の統廃合に伴い廃校となる小学校の運動場などの施設を社会体育施設に用途変更するもの。

質疑

体育館等を朝から利用する場合、利用内容によっては、早い時間帯に準備を行う必要がある場合も想定される。開館時間については、柔軟に対応すべきと思うがどうか。

答弁

実際にそのような要望があつており、これまでも、事前に相談頂いた分については、可能な限り対応している。



旧多良小学校体育館

総務文教常任委員会審査報告

産業建設常任委員会審査報告

産業建設委員会では条例14件、当初予算4件、補正予算4件、その他1件、計23件の議案を審査し、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定されました。

主な審議内容

西海市西彼農山村環境改善センターの指定管理者の指定について

◇西海市シルバー人材センターを当該施設の指定管理者として指定することについて、議会の議決を求めるもの。

質疑

環境センターの利用者へのアンケート結果で、一般用トイレに洋式トイレを設置してほしいとあるが、どうなる見通しか。

答弁

平成25年度に改修するよう予定している。

質疑

環境センターの近くに西海市観光協会があるので、連携してはどうか。

答弁

観光協会に限らず、オランダ村催事実行委員会、商工会なども連携し、利用者増に向けた取り組みを行っていかねばと考えている。

西海市市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について

◇第1次一括法の成立に伴い改正された道路法の規定に基づき、市道の構造の技術的基準を制定するもの。

質疑

この条例改正の目的は何か。

答弁

西海市では急峻な地形が多いため、急な斜面にジグザグに進んでいる道路が多い。市道の改良工事を行う場合、これまで国の道路構造令に従って、大きなカーブにしなければならなかったが、市独自の基準で改良工事を行うことができるようになる。西

海市の地形に応じた経済的な工事ができるようになる。

平成25年度西海市工業用水道事業会計予算

◇工業用水道事業収益が前年度決算見込額より25万3000円の減額となっている。3・11の大震災以降、電力事情が変わり、松島火力発電所の稼働が上がったため、工業用水道事業収益が上がったという説明をこれまで受けていたが、平成25年度は元に戻るということか。

質疑

そのとおりである。平成24年12月議会の時点では超過料金が発生していたが、それ以降は安定している。

答弁



松島火力発電所

厚生委員会では条例9件、当初予算3件、補正予算3件、その他1件、計16件の議案を審査し、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定されました。

主な審議内容

西海市福祉医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

◇障害者自立支援法が障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に改められたことに伴い、本市の関係条例について所要の改正を行うもの。

質疑 今回の法改正により、障害者の範囲に難病等加わるが、難病患者も申請をすれば障害福祉サービスが受けられると理解してよいか。

答弁 障害福祉サービスは、申請を行った後、障害程度区分認定審査会での障害区分の決定を経て提供を受けることができるが、今回の法改正により、難病患者についても同様となる。

平成25年度西海市国民健康保険特別会計予算

◇事業勘定においては歳入歳出予算の総額を47億3253万7000円とするもので、予算編成にあたっては、医療費及び被保険者の動向によって平成25年度の保健給付費及び後期高齢者支援金、介護納付金額を見込み、それに対応する国県支出金、前期高齢者交付金、一般会計繰入金、国保税額等を算出し、不足する財源については財政調整基金繰入金を計上している。

直営診療施設勘定においては、歳入歳出予算の総額を2億6552万8000円とするもので、事業支出に対する診療収入等の不足分は一般会計繰入金で補てんしている。



西海市役所本庁舎

00円とするもので、事業支出に対する診療収入等の不足分は一般会計繰入金で補てんしている。

質疑 基金残高も減少する中、税率改正や一般会計からの法定外繰入も含めて、国保税の今後の見込みはどうか。

答弁 医療費の増加により基金残高が見込めなくなる中、当初予算においては基金取り崩しにより収支の均衡を図っているため、今後、現行の保険料が適正であるかの検討を行うことになると考える。社会経済状況等に鑑み、税率の改正や法定外繰入の是非を早急に検討しなければならぬと考えている。

厚生常任委員会審査報告

基地対策特別委員会審査報告

基地対策特別委員会では、LCAC運用予定の事前通知の継続を求め、意見書案を本会議に提出しました。意見書は全会一致で可決され、防衛大臣及び外務大臣に送付しました。

LCAC運用予定に関する事前通知の継続を求める意見書

不断の努力を傾注されるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成25年3月14日

長崎県西海市議会

このほど、米国海軍佐世保基地は、エアクッション型揚陸艇「LCAC」駐機場の本市西海町横瀬地区への移転を機に、これまで行ってきたLCACの運用予定に関する関係自治体への事前通知を行わない旨表明した。いうまでもなく、円滑な基地運営には、関係自治体との信頼関係に裏打ちされた相互協力体制の構築が不可欠である。

従って、今後の良好な関係構築に向けた端緒に早くも暗雲をもちます今回の事態が、将来に亘り円滑な基地運営を困難にするのは明白であり、決して看過できるものではない。

また、本市が九州防衛局との間で締結した協定書の定めからも明らかのように、周辺地域への影響に対する配慮や安全確保とその尊重は、本件駐機場立地受入れの大前提であり、最も根本的かつ総則的な約定である。

以上のことから、国におかれては、引き続きLCACの運用予定に関する関係自治体への事前通知を継続するよう米国政府並びに米国海軍に対し、重ねて申し入れを行うとともに、併せて、同国政府等との粘り強い交渉を継続する中で、関係自治体の不安を払拭する有効かつ合意可能な方策を見出すべく、



航行するLCAC



平成24年度西海市一般会計補正予算 (第5号)

◇既存の予算から9億2235万7000円を減額し、歳入歳出予算の総額を211億6384万3000円とする。

補正の主な内容は、私立保育所運営事業、道路改良事業（県営事業負担金）及び国の経済危機対応・地域活性化予備費を活用して、大島東小学校・亀岳小学校校舎等改修事業の経費を計上する

とともに、各事業の精算に伴う減額及び国県支出金や市債等、特定財源の確定に伴う財源組替を行うほか、年度末までの予算執行に必要な経費を計上する。



亀岳小学校（西彼町）

平成24年度西海市一般会計補正予算 (第6号)

◇国の第1次補正予算に伴う日本経済再生に向けた緊急総合経済対策として追加された国庫補助金等を財源とし、平成25年度以降予定していた事業を前倒しして計上する。既存の予算に9599万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額を212億59

83万8000円とする。

補正の内容は、過疎集落等自立再生緊急対策事業、丸田地区耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業、農地海岸保全事業、林道点検診断・保全整備事業、水産基盤ストックマネジメント事業、道路維持補修事業、市道橋梁長寿命化事業、市営住宅屋上防水外壁改修事業を計上する。

平成25年度西海市一般会計予算

◇編成にあたっては、本年4月に市長及び市議会議員選挙を迎えることから、経常的な義務的経費や前年度から継続している事業を中心に骨格予算として編成し、国県等の制度的なもの及び緊急的なものについては、新規事業であっても計上しているが、政策的判断にゆだねるべき事業については、今後、措置することとする。

主な内容は、障害者福祉サービス給付費や保育所運営費負担金等、扶助費の増額があるものの、契約締結により年度支払限度額確定に伴うごみ処理施設整備事業の減額や中学校適正配置学校施設改修事業（大崎地区・西海地区）等の事業終了に伴う減額、また、行政改革に伴う人件費の減額、地方債繰上償還の実施に伴う公債費及び繰出金の減額等に伴い、予算総額は175億6300万円、前年度の当初予算と比較して8・3%、15億9500万円の減となっている。

税収は増額を見込んでいるが、それに伴い地方交付税の減額が見込まれており、厳しい状況であるが、財政の健全化を念頭に置きながら、「総合計画」に掲げる「健康の里さいかい」の実現に向けた取り組みを積極的かつ確実に実行する。

質疑 税務課が努力をし、個人市民税の滞納が減ってきているようだが、前年度と比べてどのような状況か。

答弁 個人市民税の滞納者は平成23年度が967名、平成24年度は838名である。滞納繰越額は平成24年度が約5600万円、平成25年度は4920万円を見込んでおり、減少している。

質疑 売れ出し水産ながさき販路拡大事業は、どのような事業か。

答弁 これは市内4漁協で構成する西海市水産振興協議会が事業主体となり、販路拡大、ブランド化、加工品の開発などを行う事業である。今年で3年目になる事業で「うず潮カキオイル漬」などの開発を行っている。また、東京、大阪などの商談会にも参加し、新規の取引先を開拓しており、最近では長崎市内の居酒屋との取引を進める商談会を行った。

質疑 道路維持補修事業で1億1147万円、道路舗装補修事業で5700万円計上されているが、地域からの要望はこれで満たされるのか。

答弁 地域からの要望については、平成24年度の前期分は大方予算計上している。平成23年度分についても約7〜8割は予算計上でできていると思う。



うず潮カキオイル漬



ひら い みつ ひろ
平井 満洋 議員

ごみ処理施設について

問 DBO方式による運営費の内容を詳しく、今一度、説明して頂きたい。

市長 新しいごみ処理施設は、西海市エネルギー回収推進施設整備・運営事業として、DBO方式により整備、運営を一括して発注しており、その運営業務委託契約については、基本契約及び建設工事請負契約とともに、平成24年第1回臨時会において、議会の議決を頂いたところである。

運営業務委託の契約期間は、平成42年3月31日までで、15年間で約43億円という運営費用を負担することとなるが、この施設は、ごみから炭化燃料というエネルギーを回収し、また、温室効果ガスの減少に寄与するなど、環境負荷の低減に寄与するものであり、さらに、電源開発株式会社が実施してきた実証試験の運転ノウハウが継承され、安全、しかも安定した施設の運営が行われるものと確信している。

西海市の将来像について

問 西海市の将来像について、どのようなビジョンをお持ちなのか伺う。

市長 合併以降も、本市を取り巻く環境は一段と厳しさを増している状況にあり、また、新たに対応すべき課題も増加しているが、時代や環境の変化に柔軟な対応を図りながら、平成18年度に策定を



西海市エネルギー回収推進施設外観イメージ

した第1次西海市総合計画の基本構想理念である「健康の里さかい」という将来像をしっかりと実現していかなければならないと考えている。

このため、後期基本計画に戦略プランとして示した、西海市の特徴ある地域資源を活用し地域活力の創造を目指す「自然・食・歴史の里づくり」、自然災害や身近な危険から市民の皆様の生命や財産を守る「安全の里づくり」、元気で長生きでき、健やかな子育てができる「健康・子育ての里づくり」、地域経済の活力を生み出す「企業誘致の実現」という4分野に着実に取り組んでいく必要があると考えている。

また、環境実践モデル都市の取り組みとして、環境保全や再生可能エネルギーの導入、開発を推進するとともに、先日指定を受けた「ながさき海洋・環境産業拠点特区」の活用とあわせて、長崎県と連携しながら、産業の振興と地域の活性化をより一層図っていく所存である。

イノシシ対策について

問 ①平成25年度の捕獲目標頭数は何頭か。

②電気柵及びワイヤーメッシュ柵に関する補助要件の緩和策（受益者戸数を1戸以上に改めること）を、合併後再三お願しているにもかかわらず、いまだに実現されていない。国・県の補助要件に固執せず、受益者1戸の場合の市独自の補助要件を策定してはどうか。

③合併後のイノシシ対策についての評価は、イノシシに関する市民の恐怖感を払拭するために、今後どのような対策を実施しようと計画しているのか。

市長 ①現時点では平成25年度の捕獲目標を2500頭としているが、国の鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業の活用や、昨年度に引き続き、県のイノシシ被害対策重点モデル事業が決定するとさらなる効果が期待できると考えている。これらの取り組みにより捕獲数の増加が見込まれるため、被害防止計画の捕獲頭数を3200頭で見直す予定である。

②現在、市の独自の補助制度として、国・県の事業に該当しない電気柵及びワイヤーメッシュの補助要件は飛び地を含む2戸以上としている。

1戸ずつで個別に電気柵やワイヤーメッシュ柵を設置すると、経費



いわ もと とし お
岩本 利雄 議員

も増大し、農家の負担が大きくなるため、地域が一体となった防護柵の設置を計画し、負担が少なく、より効果の高い防護対策を推進していきたいと考えている。

③合併後の捕獲頭数は合併前と比較して大きく増加しており、特に、平成22年度からは2000頭を超え、一定の実績評価をするところである。合併後の制度の見直しや捕獲体制の確立などによりさらに充実してきたものだと思っている。

今後の対策としては、地域ぐるみでの柵の設置や草刈りなどの環境整備によりイノシシを近寄らせない対策や、鳥獣被害対策実施隊による巡回・捕獲、あるいはイノシシと遭遇した際の対応の周知徹底などの取り組みを積極的に推進し、安全・安心な住環境及び鳥獣被害に強い地域づくりに努める。



水田に張られたワイヤーメッシュ柵



たがわ まさき 議員
田川 正毅

問 臨時議会において、十分な情報提供がなされなかった理由を伺う。

市長 市として承知していない事項や、公表を前提としていない情報に関する質問、要望に対し、即応できなかった部分はあるが、例えば、学識経験者の方々による自由闊達な議論を担保するために、非公開としていた事業者選定委員会の議事録を、議会からの要望を受け、学識経験者の方々の承諾を得た上で議会に示した。また、運営費の内訳の類似情報として、運営会社の長期収支計画表を提供するなど、最善の努力を尽くしたものと認識している。議会と行政との関係は、市政運営の上で非常に重要であり、今後とも情報の公開を推し進めていきたいと考えている。

問 選定委員会において指摘された事業を、どのように認識し、対応するのか伺う。

市長 事業者選定委員会が取りまとめた審査講評には、落札者である電源開発株式会社グループに対する要望事項が4点、具体的に記述されている。契約の枠組みでは、これらの4点はいずれも既に担保されており、事業者は契約により履行する義務があるが、市としても、施工

監理及び運営モニタリングを十分かつ適切に行い、事業者による確実な履行を求めるとともに地元太田和郷との綿密な協議を行い、施設の施工・運営に万全を期し、炭化施設でのごみ処理に不測の事態が生じることのないよう、徹底した対策を今後講じていきたいと考えている。



西海市ごみ処理施設建設予定地（西海町太田和郷）

「市民目線」について

問 「市民目線」をどのようにとらえ、どのように実践されているか。

市長 自慢できるふるさと西海市をつくるためには、市民協働の実践と拡充が重要であり、市民、議会、行政の3者が同じ目線で考え、動き、解決をしていくことが必要不可欠であると考えている。この考えを基本として、市民と意思を同じくするために、一昨年から開催をしている車座トークや、機会あるごとに地域の催しに参加し、市民の皆さんとの会話を優先するよう努めてきた。また、職員に対しても、市民の一人として地域に溶け込み、市民感覚を持った職員として活躍することを要請している。



なが ひろ 議員
朝長 隆洋

問 「自然」を活かしたまちづくりにおける、豊かな自然を活かすための方策は、

市長 本市の豊かな自然環境を未来へ残すため、自然観察会の開催や、自然環境保全活動団体への支援などを通じ、保全、保護に向けた市民協働のまちづくりを努める。

また、里山の恵みを活用した体験交流事業や新たな加工特産品の開発などを促進するとともに、これらの活動による収益の一部を里山の環境保全に還元する仕組みづくりや、これらの活動の積極的なPRによって、本市の対外的な認知度を高め、交流人口の拡大や地場産業の活性化を図っていききたい。

問 「食」を活かしたまちづくりについて、西海市の農業を守り、育ていくための具体的な方向性として、農業振興公社による6次産業化を含めた5か年計画を策定することだが、どう具現化するのか。

市長 平成22年度から実施している耕作放棄地の解消のほか、農業従事者の高齢化や経営規模の拡大に伴う人手不足解消のため、農業経験者を中心とした農作業の支援を行う農作業支援隊（仮称）を編成し、受託、または活動支援を行う。

さらに、新規農業の取組支援として、農業生産法人とタイアップした取組支援、農業研修生の受入事業や、6次産業化支援対策として、イノシシ肉等の加工販売、農産物の生産加工販売などが検討されている。

市も、公社が実施するこれらの事業について、積極的に支援していきたい。

問 「歴史・文化」を活かしたまちづくりにおいて、西海市の歴史的な財産をいかに活用していくのか。

市長 平成24年度は、横瀬浦開港450周年記念式典を開催し、西海市の歴史・文化の魅力を生かすPRすることができた。

また、松島、大島、崎戸の炭鉱遺構については、教育委員会が実施している炭鉱遺構等調査事業の調査結果を踏まえ、三井松島産業株式会社や三菱マテリアル株式会社と協議しながら、保存、活用について検討していきたい。

その他、平成23年度からの2か年事業で地域資源調査保存事業を実施し、西海市の自然、食、歴史・文化などの地域資源をデジタルデータベースとして整理しており、観光PRや歴史教育など、さまざまな形で活用を図っていききたい。



多数の来場者で賑わった横瀬浦開港450周年記念式典



あさ だ ゆき お 議員
浅田 幸夫

雪浦川全体の内水面組合の再構築について

問 現在、内水面組合の運営はどのようになっているのか、また、違法な漁獲に対し、どのような方策を取っているのか伺う。

市長 現在、雪浦川においては、漁業法の規定に基づき、長崎県内水面漁場管理委員会による委員会指示が発動されており、アユ、コイ、ウナギ及びモクズガニを雪浦川で採捕する場合、長崎県内水面漁場管理委員会の承認を受け、雪浦川内水面振興協議会が定めた採捕規程に従う必要がある。

雪浦川内水面振興協議会は、雪浦川で水産動物を採捕する承認を受けた者から協力金を徴収しており、これらを財源として、毎年、雪浦川にアユの放流を実施しているが、現在の委員会指示の有効期限が平成25年8月31日までとなっていることから、委員会指示の更新とあわせ、今後の協議会のあり方等について地域の皆さんとも協議をしていきたい。

違法な漁獲に対する方策については、委員会指示に強制力はなく、違反者に対する罰則はない。悪質な違反者に対しては、法の規定により対応する必要があるが、違反操業の現認や違反者の自認等が必要となることから、県や警察とも連携して対応する必要があると考える。また、雪浦川における承認関係事務は

水産課で実施しており、承認を受け、採捕期間や採捕制限などの違反がないよう説明などを行っているが、今年度、警察に通



雪浦川

高校住宅の市営住宅化について

問 教職員住宅を市営住宅化し、若年層の入居を促すことで地域の活性化につなげられると考えるが。

市長 雪浦地区の県教職員住宅については、平成24年3月議会において、建物の改修費用や借り上げ料等の費用が多くなることから、当該住宅の借用には断念することを報告し、御理解を頂いた。

また、検討対象であった市の教職員住宅の残りの1棟4戸については、今年度に教育委員会と協議を行い、市営住宅への用途変更を済ませており、平成25年度に改修工事に着手し、平成26年度より使用を開始する予定である。

今後、県の教職員住宅の活用については、市の教職員住宅を市営住宅へした後の入居状況や住宅需要を見極めながら対応していきたい。

市議会本会議を傍聴してみませんか

西海市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴することができます。

※「本会議」とは、市役所本館の3階にある「本会議場」で行われ、議案についての全体的な説明や質疑、各委員会が審査が終った議案の採決、そして、市長に対し市政全般にわたって様々な質問を行う「市政一般質問」などが主な内容です。

- Q** 一度に傍聴できる人の数は？ ⇒ 60人です。
- Q** 傍聴の受付はどこで？ ⇒ 本会議場の入口に傍聴受付の係員がいますので、そこで受付を済ませて下さい。
- Q** 受付の手続の内容は？ ⇒ 受付に備えてある用紙に住所や名前を記入し、係員から傍聴券を受け取った後、入口から右手の傍聴席に入場して下さい。(傍聴券は帰りに受付で返却して下さい。)
- Q** 受付時間は？ ⇒ 本会議が始まる1時間ほど前から、会議が行われている間も随時受け付けています。(本会議は通常午前10時から始まります。)
- Q** 傍聴席に入ることができない人
- ① 刃物など危険なものを持っている人
 - ② お酒を飲んで酔っている人
 - ③ 公(おおやけ)の場にふさわしくない服装をした人
 - ④ 張り紙やビラ、プラカードや旗などを持っている人
 - ⑤ 楽器など音の出るものを持っている人(電源を切るか、マナーモードにした携帯電話は構いません。)
 - ⑥ そのほか、会議を妨害したり、他の人に迷惑を及ぼすおそれのある人

市議会本会議の会議録がホームページで閲覧できます。

① ホームページ
トップから「市
議会」をクリッ
クする



② 「審議結果・
会議録」をク
リック



③ 閲覧したい会議の「会
議録」をクリッ
クすると閲覧
できます



西海市議会は市民の皆様が開かれた議会を目指す取組みとして、西海市のホームページ上で市議会本会議の会議録（PDF データ）を公開しています。

現在、平成21年第2回臨時会から平成25年第1回定例会までの本会議の会議録を、左記検索方法で閲覧することができます。

今後は、随時最新の会議録をホームページ上に掲載していきますので、是非ご覧下さい。

会議録掲載ページ URL

<http://www.city.saikai.nagasaki.jp/docs/2011031500245/>



編集後記

「二元代表制」 皆さんは、この言葉をご存知でしょうか。

議員自ら総理大臣などの行政を担う「議員内閣制」の国と違い、地方は、行政を担う市長など首長も議員とは別の選挙で直接市民から選ばれます。これを二元代表制といいます。

国では、結局多くの議席を持つ与党がほとんどの政策を決定しますが、地方は、それぞれ市民の負託を受けた首長と議会が是々非々の議論を交わしながら政策を進めて行きますので、手続に時間を要する場合もあるものの、市民の声を反映しやすい地方に適した制度だといえます。

私たち議会も、この4年間、西海市が新しいし尿処理施設やごみ処理施設の建設、企業誘致促進のための工業団地整備、市の一体化に寄与する大島大橋無料化など、大きな仕事を進める中で、市民の声を代表する機関として、多額の財政負担を伴う事業に将来の市民負担に見合う成果を求めながら、厳しく行政をただして参りました。



今月始動する新しい議会にも、二元代表制の趣旨を体現する、政策の追認機関に安住しない力強い活動が期待されます。この「議会だより」も活発な議論の様子をお伝えしながら、その一翼を担って参ります。